

What?

Why?



所長 山本の

ワイズリレーインタビュー

第58回 Laugh 代表 菅野 恵さんに聞きました!

故郷が笑顔になるお店を目指してUターン。本設リニューアルで世代を超えた場に進化中。

Q 業務内容を教えてください。

菅野 小売のセレクトショップです。オリジナル商品や雑貨、洋服をはじめ、手作りアクセサリなどの委託販売や産直スペースもあります。

Q 創業からの歴史を教えてください。

菅野 東日本大震災があった時に東京でアパレルの仕事をしていたのですが、地元の力になりたいと思い、Uターンし、竹駒町に整備された仮設商店街「未来商店街」に2012年4月にお店をオープンさせました。店舗のコンテナは、1週間くらいかけてみんなで黄色に塗りました。その後、オープンから2年ほど経った時にスタッフを雇ってお店をお任せして、再度上京しました。東京でのアパレルの仕事と陸前高田でのオーナーの仕事の両立に挑戦し、お店のオペレーションに試行錯誤しながら、拠点が2つある生活が続きました。東京在住の6~7年の期間の中に2年間の休業がありましたが、本設に向けた資金を貯めた後の2019年4月、かさ上げをできた中心市街地の一角にコンテナハウス2基を仮設商店街から移動させました。そして、皆さんの協力のもと、翌年の2020年8月に本設オープンすることができました。約100坪の広々とした敷地で、ウッドデッキを作ったりして徐々に手を入れながら、今は一人で切り盛りしています。

Q どんなオリジナル商品がありますか?

菅野 第一弾は「ラフぶる〜ん」という名前のプルプルとした触感の石鹸を作っていました。今はアロマオイル「キセキの恵」シリーズを販売しています。高田に生息している気仙杉100%の精油と、気仙杉と気仙ヒノキをブレンドした精油の2種類があります。また、津波の風化防止や命の大切さをモチーフにしたマトリョーシカも作りました。

Q 他店と違うセールスポイントはありますか?

菅野 産直があるところです。雑貨だけでなく、お



お店の名前の通り、自身の笑顔も素敵な菅野さん。プチ産直やプチ駄菓子屋など、どの世代も楽しめる店舗づくりをしています。



じいちゃんやおばあちゃんも気軽に立ち寄ってもらえるような地域に根ざしたお店になるために、農産物も買えるようにしています。

Q お客さんはどのような方が多いですか?

菅野 コロナの影響もあり、最近は外からよりも地元のお客さんが多いです。年齢層は30代から40代の方が多いですが、一人暮らしのご高齢の方にも来ていただいています。

Q 売れ筋はどんな商品ですか?

菅野 雑貨が売れ筋ですが、ハンドメイドの委託販売も人気です。もともとアパレル業界にいたこともあり、洋服にも力を入れていましたが、今は物流が良くなってインターネットで購入する方も増えているので、洋服のフェーズが変わってきているのを実感しています。

Q 仕入れで気をつけていることはありますか?

菅野 自分のこだわりは出しすぎないようにして、こういうのが欲しいなというお客さんのニーズに合ったものを仕入れるように気をつけています。

Q 店名の由来を教えてください。

菅野 「Laugh (ラフ)」には「笑う」という意味合いがあります。多くのものを一度に失いましたが、地元のたくさんの方々の未来が笑顔に、そして笑い



Laugh

代表

菅野 恵 (かんの・めぐみ)

1983年、陸前高田市生まれ。高校卒業後に上京し、世田谷や下北沢の洋服屋に勤務しながら、仕入れなどのノウハウを得る。震災を受けて、地元での出店を決意し、仮設店舗を経て、2020年に本設オープン。趣味はガーデニング。約100坪の店舗敷地をどのように彩っていくか構想中。

地元の気仙杉や気仙ヒノキを活用したオリジナルのアロマオイルは、森林浴をしているような爽やかな香りが人気。



有限会社 神田葡萄園 代表取締役 熊谷 晃弘さんからのご紹介

に溢れてほしいという想いを込めて名付けました。

Q この仕事の魅力はどのようなところに感じますか？

菅野 お店を通じた人と人との触れ合いや交流、そしてお客さんに喜んでもらえることです。

Q 本設後のお店は順調ですか？

菅野 高田には私のような雰囲気のお店はないのですが、ネット通販が浸透して当たり前になってきたため、実店舗での販売が難しいと感じています。東京から戻ってきて2年間のブランクがある中、それに加えて、コロナ下でのお店の本設リニューアルとなりました。今は積極的にクラフト市などのイベントに出店して、お店の名前を知ってもらえるように頑張っているところです。

Q 自分なりの勉強や情報収集の方法はありますか？

菅野 YouTube が多いです。ニュースや経済の情報を見るようにしています。

Q お店の目標を教えてください。

菅野 新設してまだ1年半ほどのため、お店を認知してもらうことが一番の目標です。高田を盛り上げていきたいので、広い敷地を活かしたクラフトマルシェなどのイベントも定期的に行きたいです。以前は商店街で集客ができていたのですが、今はそれぞれの新天地で点在しているので、ここを目掛けて来てくれるお客さんを増やすためにいろんなアプローチをしていきたいです。

Q 個人としての目標も教えてください。

菅野 車の運転がうまくなりたいです。車がなくてもそこにたどり着ける方法はいくらかもあるので、困らないと言えば困らないのですが、遠出ができるように高速道路に乗れるようになりたいです (笑)

Q 仕事をするうえで大切にしていることは何ですか？

菅野 信用です。例えば、ハンドメイドの委託販売は、

作家さんに「私だから商品を置きたい」と思っていたり、お客さんに「このお店だから買いたい」と思っていたりすることで成り立っているの、全てにおいて信用が大事だと感じています。作家さん、お客さんともに、信頼関係を築いていきたいです。

Q ハンドメイドの作家さんは増えていますか？

菅野 少しずつですが、増えています。ボックスの範囲内で販売する作品を並べられますが、今は10人くらいの作家さんに出店いただいています。アクセサリーや絵など、ジャンルは様々です。最初からこだわりすぎると、自分の主観になってしまうので、間口を広げて、今はいろんな作家さんをお呼びしている段階です。まだ高田には作家さんの人数が少なく、作家さんが多い内陸部は距離の壁もあり、作家さんを見つけるのが今の課題です。もちろん作品を送っていただいて大丈夫なのですが、自分で商品を並べるのが醍醐味なので、その兼ね合いが難しいところです。作家さんとお客さんの橋渡しができるようにしていきたいです。

Q 最後に好きなタイプの芸能人を教えてください！

菅野 オダギリジョーです。昔から映画も観ていましたが、服装のセンスが個性的で、その人しか着られないようなものを着ていて、ヘアスタイルもいいなと思います。独特の世界観が好きです。

◎ 本日はお忙しいところありがとうございました。

黄色と水色が目印のお店です♪



Laugh

陸前高田市高田町館の沖 300-12
11:00~17:30 (水曜日定休)

